

2022年度

音楽学部 第1年次

入学者選抜試験の課題

総 合 型 選 抜

学校推薦型選抜(指定校)

一 般 選 抜 A 日 程

一 般 選 抜 B 日 程

一 般 選 抜 C 日 程

 武蔵野音楽大学

この「入学者選抜試験の課題」は、2022年度 本学音楽学部 第1年次入学者選抜（総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校）、一般選抜A日程・B日程・C日程）の課題曲等をお知らせするために作成したものです。

なお、総合型選抜および学校推薦型選抜（指定校）では、試験科目が一部免除となりますので、詳細については「2022年度総合型選抜要項」、「2022年度学校推薦型選抜（指定校）要項」でご確認ください。また、一般選抜の詳細については「2022年度一般選抜（A日程・B日程・C日程）要項」でご確認ください。

目 次

演奏学科

I. 共通科目	1
II. コース別科目	
器楽コース	
有鍵楽器専修	2
管楽器専修	3
打楽器専修	9
弦楽器専修	12
声乐コース	16
ヴィルトゥオーゾコース	
有鍵楽器専修	18
管楽器専修	19
打楽器専修	21
弦楽器専修	22
声乐専修	23

音楽総合学科

I. オープンメジャーシステムでの履修を希望する場合	24
II. フィックスメジャーシステムでの履修を希望する場合	
作曲コース	26
音楽学コース	29
音楽教育コース	30
アートマネジメントコース	44

入学者選抜について

入学者選抜日程	45
---------------	----



演 奏 学 科

I

共 通 科 目

A. 楽 典 (50分)

B. 国 語 (50分) 古文・漢文を除く。

- *「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。
- *大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外 国 語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

- *外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。
なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。
- *外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面 接 (特に準備の必要はない)

- *総合型選抜における面接は、これまでの音楽活動歴や入学後の学修の抱負等についての面接となります。

Ⅱ コース別科目

器楽コース

有鍵楽器専修

■ピアノ

専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること（暗譜、繰り返しなし）。

[A] 次の1.と2.の両方を演奏する（演奏順は自由）。

1. Chopin エチュード集 Op.10または Op.25の中から1曲（Op.10-6、Op.25-7を除く）。
2. J. S. Bach 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻の中から1曲（プレリュードとフーガ）、あるいは Haydn、W. A. Mozart、Beethoven のソナタの第1楽章または終楽章。

[B] 次のグループより1人の作曲家を選び、任意の作品を演奏する（[A]で選択したものは除く）。

Haydn、W. A. Mozart、Beethoven、Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin（エチュードを除く）、Schumann、Liszt、Brahms、Saint-Saëns、Tchaikovsky、Grieg、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Prokofieff
（5～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある。）

■オルガン 1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること（暗譜の必要なし）。

[A] 課題曲 J. S. Bach Orgelbüchlein（オルガン小曲集）より任意の1曲

[B] 自由曲 任意の独奏曲1曲（[A]の曲と重複しないこと）

2. 副科ピアノ

Czerny Op.740（ツェルニー 50番）より任意の1曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

すべての管楽器専攻実技試験の課題曲について

特記された曲以外の版は自由。

1. 専攻実技、2. 副科ピアノ（8ページ）を受験すること。

1. 専攻実技 すべての楽器とも音階は暗譜

■フルート 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを長調はレガートで、短調はタンギングで演奏する。



- [B] 課題曲 次の7曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。
- C. J. Andersen 24 Studies Op.21 第2番、第4番、第10番、第24番（Schirmer版）
E. Köhler 12 medium difficult exercises Op.33の2 第5番、第8番、第10番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■オーボエ 次の[A][B][C]を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各8つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
- B dur, H dur, C dur, Des dur, D dur, Es dur, E dur, F dur, b moll, h moll, c moll, cis moll, d moll, es moll, e moll, f moll（mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように2オクターブをタンギングで演奏する。



- [B] 課題曲 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。
- Salviani Studi per Oboe Vol.2 C-dur
第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第8番
- [C] 課題曲 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。
- W.Ferling 48 Etüden 第17番、第25番、第33番
L.Wiedemann 45 Etüden für Oboe 第9番、第12番、第13番、第29番、第30番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■クラリネット 次の[A][B]両方を受験すること。

- B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。
- 音階は上記の楽器全てに共通

A 音階 すべての長調および短調（和声短音階、旋律短音階のどちらでもよい）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する。



B 課題曲 【B♭クラリネットを受験する者】
次の2曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

イ. C. M. v. Weber Concertino Es dur Op.26

ロ. C. Stamitz Konzert Nr.3 より 第1楽章および第2楽章

【Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットを受験する者】

次のエチュードの中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示で指定する場合がある）。

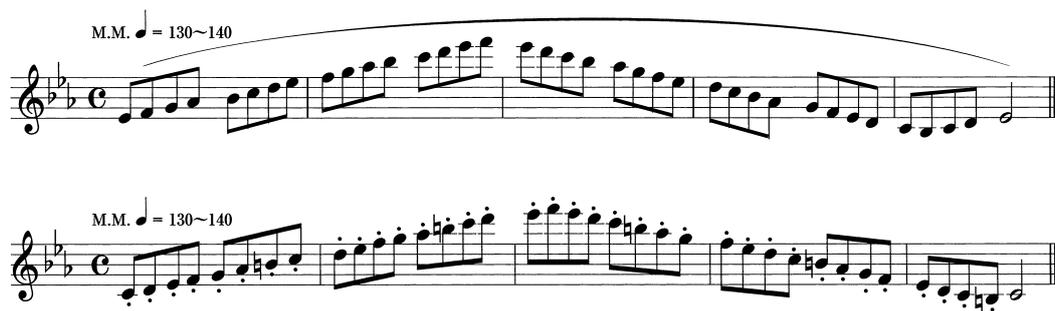
C. Rose 32 Etudes

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■サクソフォーン 次の[A][B]両方を受験すること。

- アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナー・サクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンを行う。
- 音階と課題曲は上記の楽器全てに共通。

A 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する。



B 課題曲 次のイ.ロ.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、イ.ロ.の順で演奏する。（演奏箇所については、試験初日に掲示をする。）

F. W. Ferling Enseignement du Saxophone 48 Etudes (A. Leduc 版)

イ. 第5番、第11番、第17番

ロ. 第6番、第12番、第18番

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■ファゴット 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する。



- B 課題曲** 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された部分を演奏する。

J. Weissenborn Fagottstudien Op.8 第2巻 (Peters 版)
第4番、第8番、第13番、第15番

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■ホルン 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各4つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

As dur, A dur, B dur, C dur, as moll, a moll, b moll, c moll
（すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし）。



- B 課題曲** 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。
（伴奏なし。演奏箇所については、試験初日に掲示をする。）

イ. W. A. Mozart Konzert Rondo Es dur K.371
ロ. W. A. Mozart Konzert Nr.3 Es dur K.447 第1楽章（カデンツァなし）
ハ. Saint-Saëns Morceau de concert Op.94 より第1部（第2変奏まで）

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■トランペット 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

F dur, Ges dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, ges moll, g moll, as moll, a moll, b moll
（すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし）。
Bb管で演奏すること。



（この譜例は実音 F dur）

【B】課題曲 次の4曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

- A. Corelli Sonata VIII Transcribed by R. Bernard Fitzgerald
イ. 第1楽章および第2楽章
- S. Hering 28 Melodious and Technical Etudes (C. Fischer 版)
ロ. 第1番 Allegro Moderato
ハ. 第4番 Allegretto
- T. Charlier 36 Études Transcendantes (A. Leduc 版)
ニ. 第1番 De L'articulation Allegro

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■トロンボーン（テナーで受験する者） 次の【A】【B】両方を受験すること。

【A】音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし）。

M.M. ♩ = 92

Listesso Tempo

【B】課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

- イ. C. Kopprasch 60 Studies Book I 第14番 Allegro (C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
- ロ. C. Kopprasch 60 Studies Book II 第48番 Adagio (第40小節まで)
(C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
- ハ. A. Guilmant Concert piece (冒頭の Andante sostenuto から第26小節まで、および2回目の Allegro moderato より最後まで) (Schott & Co. Ltd., International music company 版)

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■トロンボーン（バスで受験する者） 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートが必要なし）。



- B 課題曲** 次の3曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。
- イ. O. Blume 36 Studies for Trombone with F Attachment 第2番 へ長調 (C. Fischer 版)
 - ロ. C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第14番 Allegro
(C. Fischer, R. King, Hofmeister 版)
 - ハ. C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第47番 Andante (第40小節まで)
(R. King 版)

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■ユーフォニアム 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll（すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートが必要なし）。



- B 課題曲** 次のイ.ロ.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を演奏する。
（演奏箇所については、試験初日に掲示をする。）
- イ. J. Rochut Melodious Etudes for Trombone Book I 第3番、第4番、第5番
 - ロ. ① J. B. Arban Method for Trombone Characteristic Studies 第1番
② C. Kopprasch 60 Studies 第22番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（8ページ）に示されている。

■チューバ 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** 調号が#・bそれぞれ3個までの長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する。
用いる音域は任意とする（特にレガート、スタッカートの必要なし）。



- [B] 課題曲** 次のイ.ロ.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を演奏する。
(演奏箇所については、試験初日に掲示をする。)

イ. C. Kopprasch 60 Studies 第7番、第14番、第22番

ロ. M. Bordogni 43 Bel Canto Studies 第2番、第3番、第10番 (R. King 版)

- 副科ピアノは、下記に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20 - No. 1、2、3 Op.55 - No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36 - No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20 - No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2 - 1から Op.79までの第1楽章または終楽章

すべての打楽器専攻実技試験の課題曲について

特記された曲以外の版は自由。

1. 専攻実技、2. 副科ピアノ（11ページ）を受験すること。

1. 専攻実技 すべての楽器とも音階は暗譜

■マリンバ 次の[A][B][C]を受験すること。

[A] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。

- イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」
ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[B] 音階 [マリンバ]

すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように演奏する。

M.M. ♩ = 100~132

[C] 課題曲 [マリンバ]

次の8曲の中から2曲を選び演奏する。マレットの選択はすべて自由。

J. S. Bach Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV 1001-1006 (Peters 版)

- Sonata I より イ. Adagio (第13小節1拍目まで)
ロ. Fuga Allegro (第36小節2拍目まで)
ハ. Presto (第54小節まで。繰り返しなし)
Partita III より ニ. Preludio (第66小節まで)

T. B. Pitfield Sonata for Xylophone solo (Peters 版)

- ホ. Introduction (第54小節まで。D.C. なし)
ヘ. Intermezzo
ト. Reel (D.C. なし)
チ. Toccata (第81小節まで。繰り返しなし)

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（11ページ）に示されている。

■打楽器 次の[A][B][C]を受験すること。**[A] 音階〔マリンバまたはシロフォーン〕**

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する。

**[B] 小太鼓** 次のの中から当日試験場で指定する。

イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」

ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

ハ. 小太鼓基本奏法「七つ打ち」(右左交互の手順で)

[C] 課題曲〔小太鼓〕

次のイ.ロ.両方を受験すること。

イ. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を下記に示したTempoで演奏する(繰り返しなし)。

W. F. Ludwig Collection (of) Drum Solos

Dedekii (D.S.あり) ♩ = 92 ~ 100

Capt. Whiting's ♩ = 112 ~ 120

The Guard of The Standard ♩ = 112 ~ 120

Fancy $\frac{6}{8}$ ♩ = 88 ~ 96

ロ. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された1曲を演奏する。

A. J. Cirone Portraits in rhythm 第3番、第6番、第13番、第50番 (Belwin Mills版)

●副科ピアノは、**2. 副科ピアノ** (11ページ) に示されている。

■ティンパニ 次の[A][B][C][D]を受験すること。

【A】音階〔マリンバまたはシロフォーン〕

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する。



【B】小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。

イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」

ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

ハ. 小太鼓基本奏法「七つ打ち」(右左交互の手順で)

【C】ティンパニ ティンパニのチューニング(当日ピアノで与えた音程を作ること)

ティンパニの基本奏法 ロール *pp* < *ff* > *pp* (約30秒)

【D】課題曲〔ティンパニ〕

次の7曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を演奏する(音程はピアノで与える)。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol.1 (Doblinger 版)

第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番

●副科ピアノは、下記に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20 - No. 1、2、3 Op.55 - No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36 - No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20 - No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2 - 1から Op.79までの第1楽章または終楽章

弦楽器専修

1. 専攻実技、2. 副科ピアノ（15ページ）を受験すること。

1. 専攻実技

■ヴァイオリン 次の[A][B][C]を受験すること。

受験に際しては、[A][B][C]の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

[A] 音階 次のイ.ロ.のいずれかを選び演奏する。

イ. 小野アンナ音階教則本、またはフリマリー音階教則本より任意の調を選び、下記のように3オクターブの音階と分散和音をa、b、c、dの順に演奏する。運指は自由とし、b.のスラーは譜例の上・下どちらでもよい。

例

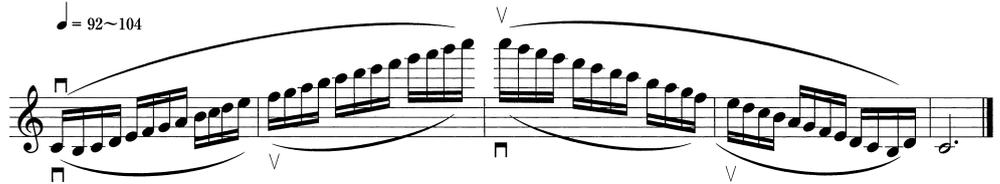
a. ゆっくり

♩ = 58~63



b. ここからはやく

♩ = 92~104



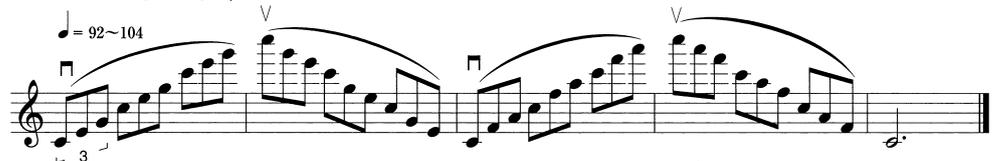
c. ゆっくり

♩ = 58~63



d. ここからはやく

♩ = 92~104



ロ. Carl Flesch : Scale System より任意の調を選び、第5番の12小節までを演奏する。スラーに関してはハ長調のものと同様に演奏をする。運指は自由とし、楽譜の版は問わない。

[B] Dont (Op.35)、Fiorillo、Rode、Paganini、またはこれらと同程度のエチュード、カプリスの中より任意の1曲を演奏する。

[C] 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章を演奏する。演奏時間は7分程度とする。この時間を越えた場合はカットする。

●副科ピアノは、**2. 副科ピアノ**（15ページ）に示されている。

■ ヴィオラ 次の[A][B][C]を受験すること。

受験に際しては、[A][B][C]の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

[A] 音階 次のイ.ロ.のいずれかを選び演奏する。

- イ. 任意の調を選び3オクターブの音階と分散和音を a、b、c、d の順に演奏する。
運指は自由とし、スラーは譜例を参照すること。

例

a. ゆっくり

♩ = 58~63

b. ここからはやく

♩ = 92~104

c. ゆっくり

♩ = 58~63

d. ここからはやく

♩ = 92~104

ロ. Carl Flesch : Scale System より任意の調を選び、第5番の12小節までを演奏する。スラーに関してはハ長調のものと同様に演奏をする。運指は自由とし、楽譜の版は問わない。

[B] Kreutzer (エチュード) または Campagnoli (カプリス) より1曲を演奏する。

[C] 任意の協奏曲、ソナタの中から第1楽章または終楽章を演奏する。演奏時間は7分程度とする。この時間を超えた場合はカットする。

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (15ページ) に示されている。

■チェロ 次の**A****B****C**を受験すること。

受験に際しては、**A****B****C**の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

- A** 音階 任意の調を選び3オクターブの音階を演奏する。速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例

The example shows four staves of musical notation for a scale exercise. The first staff is in bass clef, 4/4 time, starting with a square box above the first measure and a 'v' above the second measure. The second staff is in treble clef. The third staff is in bass clef, starting with a square box above the first measure and a 'v' above the second measure. The fourth staff is in treble clef. The notation consists of eighth notes with slurs across the phrases.

- B** 任意のエチュードより1曲、または組曲の中から1つの曲を演奏する。
- C** 任意の協奏曲、ソナタまたは独奏曲を演奏する（必ず速い楽章を含む）。複数の楽章も可。ただし、**B**の曲と重複しないこと。演奏時間は5～7分程度とする。この時間を超えた場合はカットする。
- 副科ピアノは、**2. 副科ピアノ**（15ページ）に示されている。

■コントラバス 次の[A][B]を受験すること。

受験に際しては、[A][B]の順で演奏すること。暗譜の必要なし。

- [A] 音階 任意の調を選び2オクターブの音階を演奏する。
速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



- [B] イ.ロ.のうちどちらかを選択し、演奏する（伴奏なし）。

イ. 任意の協奏曲の中から第1楽章、または第3楽章

ロ. 任意のソナタの中から第1楽章および第2楽章

- 副科ピアノは、下記に示されている。

■ハープ 次の2曲を任意に選び演奏する（暗譜、繰り返しなし）。

- (1) 練習曲 1曲（演奏時間 3分程度。この時間を超えた場合はカットする）
(2) 独奏曲 1曲（演奏時間 7分程度。この時間を超えた場合はカットする）

- 副科ピアノは、下記に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20 - No. 1、2、3 Op.55 - No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36 - No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20 - No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2-1から Op.79までの第1楽章または終楽章

Ⅱ

コース別科目

音楽コース

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] 課題曲 次の1.および2.を1.2.の順に演奏すること。調性は指定の中から選ぶこと。

1. 次の20曲の中から2曲を準備し、その中から当日試験場で指定された1曲を演奏する（原語、暗譜）。

※今年度より調性に変更あり。

・ W. A. Mozart	Das Veilchen	ホ長調	ト長調		
・ Beethoven	Ich liebe dich	ホ長調	ヘ長調	ト長調	
・ Schubert	Frühlingsglaube	変ト長調	変イ長調		
・ Schumann	Die Lotosblume	変ホ長調	ヘ長調		
・ Rosa (Mancia)	Star vicino	ホ長調	ト長調	イ長調	変ロ長調
・ Rosa	Vado ben spesso cangiando loco	変イ長調	イ長調	変ロ長調	ハ長調
・ Caccini	Amor ch'attendi	ホ長調	ト長調	イ長調	
・ A. Scarlatti	Se tu della mia morte	ホ短調	ヘ短調	ト短調	
・ A. Scarlatti	Sento nel core	ニ短調	ヘ短調	ト短調	
・ A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	ヘ長調	ト長調	変イ長調	変ロ長調
・ A. Scarlatti	Le violette	ヘ長調	変イ長調	変ロ長調	ロ長調
・ Gasparini	Lasciar d'amarti	ニ短調	ヘ短調	ト短調	
・ Gasparini	Caro laccio	変ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
・ Caldara	Sebben, crudele	ハ短調	ニ短調	ホ短調	
・ Durante	Vergin, tutto amor	ロ短調	ハ短調	ニ短調	
・ Paisiello	Nel cor più non mi sento	変ホ長調	ホ長調	ヘ長調	ト長調
・ Giordani	Caro mio ben	ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
・ Bellini	Ma rendi pur contento	変ト長調	変イ長調		
・ Bellini	Vaga luna, che inargenti	変イ長調	ハ長調		
・ Tosti	Sogno	変イ長調	変ロ長調		

2. 次の10曲の中から1曲を選び、演奏する（暗譜）。

・ 瀧 廉太郎	荒城の月（1番、2番のみ）	変口短調	ハ短調	ニ短調
・ 山田 耕柝	この道（1番、2番のみ）	ニ長調	ホ長調	ヘ長調
・ 信時 潔	北秋の	変口長調	ハ長調	ニ長調
・ 信時 潔	行々子	ニ長調	ホ長調	嬰ヘ長調
・ 成田 為三	浜辺の歌（1番、2番のみ）	ヘ長調	変イ長調	イ長調
・ 小松 耕輔	母	ヘ長調	変イ長調	イ長調
・ 平井康三郎	びいでびいで（繰り返しなし）	ト長調	イ長調	
・ 平井康三郎	ゆりかご	ニ長調	ホ長調	
・ 中田 喜直	むこうむこう	変ホ長調	ヘ長調	
・ 中田 喜直	風の子供	変ニ長調	ニ長調	

- B** 自由曲 **A** 課題曲 1. 2. に記載された以外の1曲を演奏する（5分以内の曲、原語、暗譜）。
調性は自由。なお、5分を超えた場合は演奏の途中でカットすることがある。伴奏楽譜は願書に添えて提出すること。自由曲で伴奏者に特別な指示（プレス等）が必要な場合は赤で記入可。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2-1から Op.79までの第1楽章または終楽章

Ⅱ コース別科目

ヴィルトゥオーゾコース

有鍵楽器専修

ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、器楽コース有鍵楽器専修（2ページ）の実技課題（副科ピアノを含む）とヴィルトゥオーゾコースの実技課題の両方を受験すること。

■ピアノ

次のイ.ロ.ハ.より2つのグループを選び、各々1人ずつ作曲家を選択し、合わせて15分以上のプログラムを組み演奏する（ロ.ハ.内の同一作曲家による複数曲は可）。ただし、器楽コース有鍵楽器専修ピアノ専攻の試験で演奏する作品と重複しないこと（暗譜、繰り返しなし）。

- イ. Haydn、W.A.Mozart、Beethoven のソナタの第1楽章または終楽章
- ロ. Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin（エチュードを除く）、Schumann、Liszt、Brahms、Tchaikovsky、Grieg
- ハ. Saint-Saëns、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Prokofieff

■オルガン

次の6曲の中から1曲を選び演奏する。ただし、器楽コース有鍵楽器専修オルガン専攻の自由曲と重複しないこと（暗譜の必要なし）。

- | | | | |
|------------|--------------------|---------------|---------------|
| J. S. Bach | Praeludium et Fuga | イ. ハ長調 BWV531 | ニ. ニ短調 BWV539 |
| | | ロ. ニ長調 BWV532 | ホ. ト長調 BWV541 |
| | | ハ. イ長調 BWV536 | ヘ. イ短調 BWV543 |

使用するオルガンの仕様（事前に練習ができます）

Pedal		I. Hauptwerk		II. Schwellwerk		III. Solowerk	
1. Choralbass	4'	4. Mixtur	3f	9. Terz	1 3/5'	15. Klarinette	8'
2. Violon	8'	5. Larigot	1 1/3'	10. Octave	2'	16. Dolkan	8'
3. Subbass	16'	6. Blockflöte	2'	11. Quinte	1 2/3'		
		7. Principal	4'	12. Offenflöte	4'		
		8. Gedackt	8'	13. Rohrflöte	8'		
				14. Tremulant			

Ⅲ / Ⅱ Ⅲ / Ⅰ Ⅱ / Ⅰ Ⅲ / P Ⅱ / P Ⅰ / P

ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、器楽コース管楽器専修（3～8ページ）の実技課題（副科ピアノを含む）とヴィルトゥオーゾコースの実技課題の両方を受験すること。

すべての管楽器とも伴奏なし。特記された曲以外の版は自由。なお、受験曲の演奏箇所は、試験場で指示する場合がある。

■フルート 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] A. B. Fürstenau 24 Übungen, Capricen und Präludien Op.125より No.4, No.10のいずれかを選び演奏する。

[B] 次のイ. からリ. の中より1つを選び演奏する。

- イ. E. Bozza Image Op.38
- ロ. S. Karg - Elert Sonata appassionata fis moll Op.140
- ハ. S. Karg - Elert 30 Studies Op.107 No.30 (Chaconne)
- ニ. J. Rivier Oiseaux tendres
- ホ. L. Berio Sequenza I
- ヘ. C. Halffter Debla (Solo VI)
- ト. 一柳 慧 忘れ得ぬ記憶の中に
- チ. I. Yun Etüden より No.5
- リ. P. Hindemith 8 Stücke より 1、2、3、5、6、8

■オーボエ 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] 次の4曲の中から1曲を選び、演奏する（カデンツァなし、演奏箇所は当日指定）。

- イ. W. A. Mozart Konzert C dur KV314 第1楽章
- ロ. L. A. Lebrun Konzert Nr.1 d moll 第1楽章
- ハ. F. Krommer Konzert F dur Op.52 第1楽章
- ニ. F. J. Haydn Konzert C dur 第1楽章

[B] 次の4曲の中から1曲を選び、演奏する（繰り返しなし）。

- G. P. Telemann 12 Fantasien für Flöte より第1番、2番、6番、7番

■クラリネット

次の2曲の中から1曲を選び演奏する。

- イ. C. M. v. Weber Konzert Nr. 1 f moll Op.73 第1楽章および第2楽章
- ロ. C. M. v. Weber Konzert Nr. 2 Es dur Op.74 第1楽章および第2楽章

■サクソフォーン

次の5曲の中から1曲を選び演奏する。

- イ. P. Creston Sonata Op.19
- ロ. P. Maurice Tableaux de Provence (H. Lemoine 版)
- ハ. D. Milhaud Scaramouche (Salabert 版)
- ニ. R. Boutry Divertimento (A. Leduc 版)
- ホ. A. Glazounov et A. Petiot Concerto en mi bémol (A. Leduc 版)

■ファゴット

次の曲を演奏する。

C. M. v. Weber Konzert für Fagott und Orchester F dur Op.75 第1楽章

■ホルン

次の2曲を演奏する。

W. A. Mozart Konzert für Horn und Orchester Nr.4 Es dur K.495 より 第1楽章、第2楽章
C. Kopprasch 60 Studies より No.15

■トランペット

次の2曲をイ、ロ、の順で演奏する。

T. Charlier 36 Études Transcendantes (A. Leduc 版)
イ. 第2番 Du Style Allegretto
ロ. 第5番 De L'articulation Allegro

■トロンボーン (テナーで受験する者)

次の曲を演奏する。

E. Bozza Ballade

■トロンボーン (バスで受験する者)

次の曲を演奏する。

E. Bozza New Orleans

■ユーフォニアム

次の曲を演奏する。

P. V. De La Nux Concert piece Trombone or Baritone and Piano

■チューバ

次の曲を演奏する (C管またはB管で演奏すること)。

A. Lebedjew Konzert Nr.1

打楽器専修

ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、器楽コース打楽器専修（9～11ページ）の実技課題（副科ピアノを含む）とヴィルトゥオーゾコースの実技課題の両方を受験すること。

すべての打楽器とも特記された曲以外の版は自由。なお、受験曲の演奏箇所は、試験場で指示する場合がある。

■マリンバ

自由曲を演奏する（15分程度。複数曲も可）。

ただし、器楽コース打楽器専修マリンバ専攻実技の課題曲として記載されている曲をすべて除く。

なお、楽譜（1部）を願書に添えて提出すること。

■打楽器 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] 次の9曲の中から当日試験場で指定された2曲を演奏する。

すべて ♩ = 112～120で演奏する。

C. Wilcoxon The All-American Drummer 150 Rudimental Solos

第1番、第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第9番、第10番

[B] 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

イ. S. Fink Trommel-suite (Zimmermann 版)

ロ. A. Masson Prim for snare drum (Bim 版)

ハ. 北爪 道夫 Side by side

■ティンパニ

次の3曲を記載順に演奏する（最初の曲の音程をピアノで与える）。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol. 2 (Doblinger 版) 第14番、第54番、第50番

弦楽器専修

ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、器楽コース弦楽器専修（12～15ページ）の実技課題（副科ピアノを含む）とヴィルトゥオーゾコースの実技課題の両方を受験すること。

すべての弦楽器とも暗譜、伴奏なし、繰り返しなし。なお、受験曲の演奏箇所は、試験場で指示する場合がある。

■ヴァイオリン

次の3曲を演奏する。

- イ. J. S. Bach 無伴奏ソナタ、無伴奏パルティータの中から1つの楽章
- ロ. Paganini 24のカプリス Op.1の中から1曲、またはそれと同程度のエチュード、カプリスの中から1曲
- ハ. 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章

■ヴィオラ

次の2曲を演奏する。

1. 次のイ.ロ.のいずれかを選び演奏する。

- イ. J. S. Bach 無伴奏チェロ組曲第1番から第6番の中から1つの楽章（ヴィオラに編曲されたもの）
- ロ. Campagnoli 41のカプリス Op.22の中から1曲、またはそれと同程度のエチュード、カプリスの中から1曲

2. 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章

■チェロ

次の2曲を演奏する。

1. 次のイ.ロ.のいずれかを選び演奏する。

- イ. J. S. Bach 無伴奏組曲第1番から第6番の中から1つの楽章
- ロ. Duport エチュード、またはそれと同程度のエチュードの中から1曲

2. 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章

■コントラバス

次の2曲を演奏する。

- イ. O. Ruhm Progressive Etüden für Kontrabass Heft 2 の中から1曲（Doblinger版）
- ロ. 任意の協奏曲の第1楽章および第2楽章、または第2楽章および第3楽章

■ハープ

次の2曲を演奏する。

- イ. Nadermann Sept Sonatinas Progressives の中の任意の1曲（全楽章）。
- ロ. 任意の独奏曲（ソナタでも可）。

ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、声楽コース（16～17ページ）の実技課題（副科ピアノを含む）とヴィルトゥオーゾコースの実技課題の両方を受験すること。

次の[A][B][C]の指示に従って演奏する（暗譜）。

なお、[A][B][C]とも伴奏楽譜を願書に添えて提出すること。

- [A] 課題曲** 下記の作曲家の中から異なる作曲家の曲を2曲選び、その中から1曲を当日試験場で指定する。歌曲に限る。調性は自由とする。ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。

Händel, Haydn, Mozart, Schubert, Mendelssohn, Schumann, Brahms, Wolf,
Strauss, Monteverdi, A. Scarlatti, Gasparini, Vivaldi, Pergolesi, Rossini,
Donizetti, Bellini, Verdi, Tosti, Donaudy, Respighi, Cimara, Lully, Fauré,
Debussy, Tchaikovsky, Rachmaninoff

- [B] 課題曲** 下記の作曲家の中から異なる作曲家の曲を2曲選び、その中から1曲を当日試験場で指定する。歌曲に限る。調性は自由とする。ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。

瀧 廉太郎、小松耕輔、山田耕筰、信時 潔、弘田竜太郎、成田為三、高田三郎、
平井康三郎、中田喜直、別宮貞雄、團 伊玖磨、小林秀雄、木下牧子

- [C] 自由曲** 5分以内のオペラ、コンサートアリア、オラトリオから1曲を演奏する。ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。



音楽総合学科

音楽総合学科には、「作曲コース」、「音楽学コース」、「音楽教育コース」、「アートマネジメントコース」の4つのコースがあります。

また、この学科では、1年次では特定のコースを定めず4つのコースの基礎を広く学ぶⅠ.【オープンメジャーシステム】と、1年次からコースを定め専門的な科目を履修するⅡ.【フィックスメジャーシステム】とがあり、希望する履修システムによって試験課題が異なります。試験課題については次のとおりです。

I. オープンメジャーシステムでの履修を希望する場合

次の A. から G. をすべて受験すること。

A. 楽典 (50分)

B. 国語 (50分) 古文・漢文を除く。

*「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

*大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外国語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

*外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。

*外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面接 (特に準備の必要はない)

E. 課題小論文 (50分)

試験場で提示する芸術文化全般に関する課題についての論述

F. 口頭試問

上記「E. 課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。

G. 実 技 (器楽、声楽)

器楽または声楽のいずれかを演奏する (暗譜の必要なし)。

なお、器楽については次に掲げる楽器の中から1つを選び演奏する。

ピアノ ————— 次の曲から1曲を選び演奏する (暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

- イ. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
- ロ. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
- ハ. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
- ニ. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
- ホ. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
- ヘ. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
- ト. Beethoven ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ————— 3分程度の任意の曲 (複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリimba、打楽器、ティンパニ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

声 楽 ————— 演奏学科声楽コースの課題曲 (16～17ページ **A**課題曲 1. 2.) の中から1曲 (調性は指定の中から選ぶこと)。

Ⅱ. フィックスメジャーシステムでの履修を希望する場合

作曲コース

次の A. から G. をすべて受験すること。

A. 楽典 (50分)

B. 国語 (50分) 古文・漢文を除く。

- * 「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。
- * 大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外国語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

- * 外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。
なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。
- * 外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面接 (特に準備の必要はない)

E. 専攻課題

次の1. 2. 3. 4. より一つを選択する。

1. 和声 ソプラノ課題またはバス課題（2時間）。

和声課題 解答例

Moderato assai

Musical score for Moderato assai, piano accompaniment. The score is in 4/4 time and consists of three systems of music. The first system starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The second system begins with a piano (p) dynamic and includes a crescendo marking 'poco a poco cresc.' leading to a forte (f) dynamic. The third system ends with a mezzo-piano (mp) dynamic. The score features a mix of eighth and sixteenth notes in the right hand and chords and eighth notes in the left hand.

2. 作曲 与えられた動機による任意の形式のピアノ曲を作る（3時間）。

出題動機例

Musical motif for composition, shown in 3/4 time. The motif consists of a sequence of notes: a quarter note G4, a quarter note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, and a half note B4.

解答楽曲例

Tempo di minuetto

Musical score for Tempo di minuetto, piano accompaniment. The score is in 3/4 time and consists of two systems of music. The first system starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The score features a mix of eighth and sixteenth notes in the right hand and chords and eighth notes in the left hand.

Andante

Musical score for Andante, piano accompaniment. The score is in 3/4 time and consists of two systems of music. The first system starts with a mezzo-piano (mp) dynamic. The score features a mix of eighth and sixteenth notes in the right hand and chords and eighth notes in the left hand.



3. 作品提出 出願時に、自作品の楽譜とその解説(200字程度)を提出する。作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。
4. 音源提出 出願時に、自作品の録音(オーディオCD)とその解説(200字程度)を提出する。作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。

F. 口頭試問 E. に関する質問が中心となる。

なお、口頭試問の時間は、

E. —1. 2. を選択した者は20分

E. —3. 4. を選択した者は30分

とする。

G. 実 技 (ピアノ)

次の曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

- | | |
|-----------------|--|
| イ. J. S. Bach | 平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻(フーガのみ) |
| ロ. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ハ. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ニ. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章
ただし、Op.27-2の第1楽章は除く。 |

音楽学コース

次のAからG.をすべて受験すること。

A. 楽典 (50分)

B. 国語 (50分) 古文・漢文を除く。

*「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

*大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外国語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

*外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。

*外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面接 (特に準備の必要はない)

E. 課題小論文 (90分)

音楽を主題とする小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。

F. 口頭試問

上記「E. 課題小論文」および音楽全般に関する基本的な事柄について試問する。

G. 実技 (器楽、声楽)

器楽または声楽のいずれかを演奏する(暗譜の必要なし)。

なお、器楽については次に掲げる楽器の中から1つを選び演奏する。

ピアノ ————— 次の曲から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

- | | |
|-----------------|--|
| イ. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| ロ. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| ハ. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| ニ. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| ホ. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ヘ. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ト. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ————— 3分程度の任意の曲(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリimba、打楽器、ティンパニ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

声楽 ————— 演奏学科声楽コースの課題曲(16～17ページ **㊦**課題曲1. 2.)の中から1曲(調性は指定の中から選ぶこと)。

音楽教育コース

次の A から G をすべて受験すること。

A. 楽典 (50分)

B. 国語 (50分) 古文・漢文を除く。

*「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

*大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外国語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

*外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。

*外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面接 (特に準備の必要はない)

E. 課題小論文 (50分)

教育または音楽教育に関する小論文を課し、主に内容の的確さと構成力、並びに文章表現力を判定する。

F. 口頭試問

上記「E. 課題小論文」および音楽教育の基本的な事柄について試問する。

G. 実技 (器楽、声楽)

有鍵楽器

■ピアノ

実 技

次のグループより1人の作曲家を選び、任意の作品を演奏する(暗譜、繰り返しなし)。

Haydn、W. A. Mozart、Beethoven、Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin (エチュードを除く)、Schumann、Liszt、Brahms、Saint-Saëns、Tchaikovsky、Grieg、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Prokofieff (5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある。)

■オルガン 1. 実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 実 技

任意の独奏曲1曲を演奏する（暗譜の必要なし）。

2. 副科ピアノ

Czerny Op.740（ツェルニー 50番）より任意の1曲（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

管楽器

すべての管楽器実技試験の課題曲について

特記された曲以外の版は自由。

1. 実技、2. 副科ピアノ（36ページ）を受験すること。

1. 実 技 すべての楽器とも音階は暗譜

■フルート 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音 階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを長調はレガートで、短調はタンギングで演奏する。



- [B] 課題曲 次の7曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。
- C. J. Andersen 24 Studies Op.21 第2番、第4番、第10番、第24番（Schirmer版）
E. Köhler 12 medium difficult exercises Op.33の2 第5番、第8番、第10番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（36ページ）に示されている。

■オーボエ 次の[A][B][C]を受験すること。

- A 音階** 次の指定する長調、短調 各8つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
B dur, H dur, C dur, Des dur, D dur, Es dur, E dur, F dur, b moll, h moll, c moll, cis moll, d moll, es moll, e moll, f moll (moll はすべて和声短音階で演奏する)
譜例のように2オクターブをタンギングで演奏する。



- B 課題曲** 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。
Salviani Studi per Oboe Vol.2 C-dur
第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第8番
- C 課題曲** 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。
W.Ferling 48 Etüden 第17番、第25番、第33番
L.Wiedemann 45 Etüden für Oboe 第9番、第12番、第13番、第29番、第30番
- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■クラリネット 次の[A][B]両方を受験すること。

- B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。
- 音階は上記の楽器全てに共通

- A 音階** すべての長調および短調（和声短音階、旋律短音階のどちらでもよい）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する。

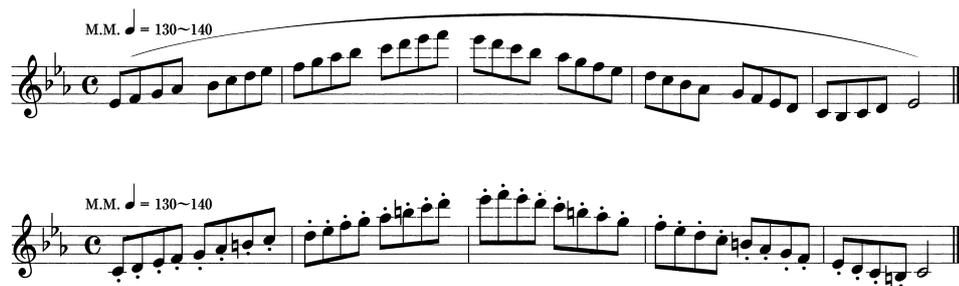


- B 課題曲** 次のエチュードの中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示で指定する場合がある)。
C. Rose 32 Etudes
- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■サクソフォーン 次の[A][B]両方を受験すること。

- アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナー・サクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンを行う。
- 音階と課題曲は上記の楽器すべてに共通

A 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する。



B 課題曲 次のイ.ロ.の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

F. W. Ferling Enseignement du Saxophone 48 Etudes (A. Leduc 版)

イ. 第5番、第11番、第17番

ロ. 第6番、第12番、第18番

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■ファゴット 次の[A][B]両方を受験すること。

A 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する。



B 課題曲 次の4曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

J. Weissenborn Fagottstudien Op.8 第2巻 (Peters 版)

第4番、第8番、第13番、第15番

- 副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■ホルン 次の[A][B]両方を受験すること。

A 音階 次に指定する長調、短調 各4つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

As dur, A dur, B dur, C dur, as moll, a moll, b moll, c moll
 (すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように演奏する (特にレガート、スタッカートの必要なし)。



B 課題曲 次の2曲の中から1曲を選び演奏する。
 (伴奏なし。演奏箇所については、試験初日に掲示をする。)

イ. E. Bozza En Irlande
 ロ. W. A. Mozart Konzert Nr.3 Es dur K.447 第1楽章 (カデンツァなし)

●副科ピアノは、**2. 副科ピアノ** (36ページ) に示されている。

■トランペット 次の[A][B]両方を受験すること。

A 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

F dur, Ges dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, ges moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する (特にレガート、スタッカートの必要なし)。
 B♭管で演奏すること。



(この譜例は実音 F dur)

B 課題曲 次の曲を演奏する。

G. F. Handel Aria con Variazioni Transcribed by R. Bernard Fitzgerald
 Theme および Var. I

●副科ピアノは、**2. 副科ピアノ** (36ページ) に示されている。

■トロンボーン (テナーで受験する者) 次の[A][B]両方を受験すること。

A 音階 すべての長調および短調 (和声短音階) の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する (特にレガート、スタッカートの必要なし)。



■ **B 課題曲** 次の2曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

C. Kopprasch 60 Selected Studies for Trombone (C. Fischer 版)
第7番、第11番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■ **トロンボーン (バスで受験する者)** 次の **A** **B** 両方を受験すること。

A 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし）。

B 課題曲 次の2曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba (R. King 版)
第7番、第11番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■ **ユーフォニアム** 次の **A** **B** 両方を受験すること。

A 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll
（すべて実音表記、moll はすべて和声短音階で演奏する）

譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし）。

B 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

J. Rochut Melodious Etudes for Trombone Book I
第3番、第4番、第5番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (36ページ) に示されている。

■**チューバ** 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] **音階** 調号が#・bそれぞれ3個までの長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する。
用いる音域は任意とする（特にレガート、スタッカートの必要なし）。



- [B] **課題曲** 次の2曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。
M. Bordogni 43 Bel Canto Studies (R. King 版)
第2番、第3番

●副科ピアノは、下記に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。
ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20 - No. 1、2、3 Op.55 - No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36 - No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20 - No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2 - 1から Op.79までの第1楽章または終楽章

すべての打楽器実技試験の課題曲について

特記された曲以外の版は自由。

1. 実技、2. 副科ピアノ（39ページ）を受験すること。

1. 実 技 全ての楽器とも音階は暗譜

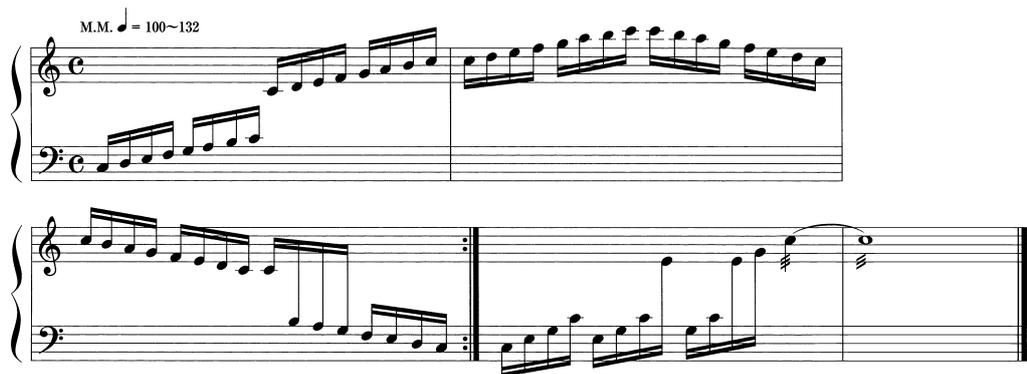
■マリンバ 次の[A][B][C]を受験すること。

【A】小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。

- イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」
- ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

【B】音 階〔マリンバ〕

すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように演奏する。



【C】課題曲〔マリンバ〕 次の8曲の中から1曲を選び演奏する。マレットの選択はすべて自由。

- J. S. Bach Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV 1001-1006 (Peters 版)
 - Sonata I より
 - イ. Adagio (第13小節1拍目まで)
 - ロ. Fuga Allegro (第36小節2拍目まで)
 - ハ. Presto (第54小節まで。繰り返しなし)
 - Partita III より
 - ニ. Preludio (第66小節まで)
- T. B. Pitfield Sonata for Xylophone solo (Peters 版)
 - ホ. Introduction (第54小節まで。D.C.なし)
 - へ. Intermezzo
 - ト. Reel (D.C.なし)
 - チ. Toccata (第81小節まで。繰り返しなし)

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ（39ページ）に示されている。

■打楽器 次の[A][B][C]を受験すること。

[A] 音階〔マリンバまたはシロフォーン〕

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。

イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」

ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

ハ. 小太鼓基本奏法「七つ打ち」(右左交互の手順で)

[C] 課題曲〔小太鼓〕 次のイ.ロ.両方を受験すること(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

イ. 次の4曲の中から1曲を選び演奏する(Tempoの指定なし、繰り返しなし)。

W. F. Ludwig Collection (of) Drum Solos

Dedekii (D.S.あり)

Capt. Whiting's

The Guard of The Standard

Fancy $\frac{6}{8}$

ロ. 次の4曲の中から1曲を選び演奏する。

A. J. Cirone Portraits in rhythm 第3番、第6番、第13番、第50番(Belwin Mills版)

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (39ページ) に示されている。

■ティンパニ 次の[A][B][C][D]を受験すること。

[A] 音階〔マリンバまたはシロフォーン〕

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, F dur, B dur

譜例のように演奏する。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。

イ. 小太鼓基本奏法「二つ打ち」

ロ. 小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] ティンパニ ティンパニのチューニング(当日ピアノで与えた音程を作ること)

ティンパニの基本奏法 ロール *pp* \leftarrow *ff* \rightarrow *pp* (約30秒)

[D] 課題曲〔ティンパニ〕

次の7曲の中から2曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする。また、音程はピアノで与える)。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol.1 (Doblinger版)

第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (39ページ) に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章

弦楽器

1. 実技、2. 副科ピアノ（42ページ）を受験すること。

1. 実 技

■ヴァイオリン 次の[A][B]を受験すること。

受験に際しては、[A][B]の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

[A] 音階 次を演奏する。

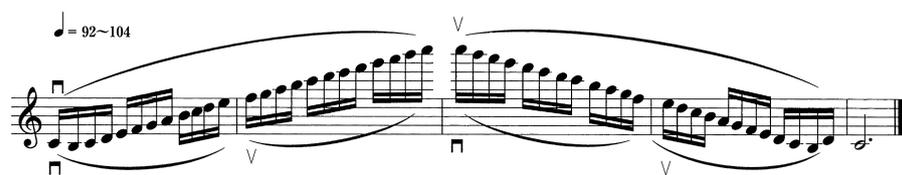
小野アンナ音階教則本、またはフリマリー音階教則本より任意の調を選び、3オクターブの音階と分散和音をa、b、c、dの順に演奏する。運指は自由とし、b.のスラーは譜例の上・下どちらでもよい。

例

a. ゆっくり



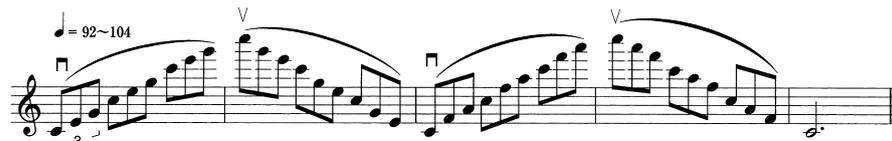
b. ここからはやく



c. ゆっくり



d. ここからはやく



【B】任意に選択した1曲を演奏する。演奏時間は7分程度とする。この時間を超えた場合はカットする。

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (42ページ) に示されている。

■**ヴィオラ** 次の【A】【B】を受験すること。

受験に際しては、【A】【B】の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

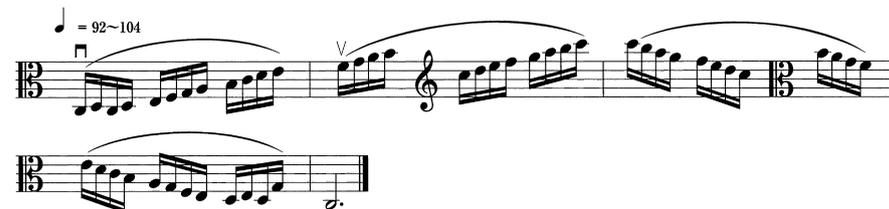
- 【A】音階 次を演奏する。
任意の調を選び3オクターブの音階と分散和音をa、b、c、dの順に演奏する。
運指は自由とし、スラーは譜例を参照すること。

例

a. ゆっくり



b. ここからはやく



c. ゆっくり



d. ここからはやく



☐ 任意に選択した1曲を演奏する。演奏時間は7分程度とする。この時間を超えた場合はカットする。

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (42ページ) に示されている。

■**チェロ** 次の☐☐を受験すること。

受験に際しては、☐☐の順で演奏し、全て暗譜（伴奏なし）とする。

☐ **音階** 任意の調を選び3オクターブの音階を演奏する。速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



☐ 任意に選択した1曲を演奏する。

●副科ピアノは、2. 副科ピアノ (42ページ) に示されている。

■**コントラバス** 次の[A][B]を受験すること。

受験に際しては、[A][B]の順で演奏すること。暗譜の必要なし。

- [A] **音階** 任意の調を選び2オクターブの音階を演奏する。
速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



- [B] 任意に選択した1曲を演奏する（伴奏なし）。

●副科ピアノは、下記に示されている。

■**ハープ** 次を受験すること。

任意の独奏曲1曲を演奏する。演奏時間は7分程度とする(暗譜、繰り返しなし。この時間を超えた場合はカットする)。

●副科ピアノは、下記に示されている。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
ロ. Kuhlau	ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ 第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ 第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ Op.2-1から Op.79までの第1楽章または終楽章

声楽

1. 実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 実 技

課題曲 次の1. および2. を1. 2. の順に演奏すること。調性は指定の中から選ぶこと。

1. 次の20曲の中から2曲を準備し、その中から当日試験場で指定された1曲を演奏する（原語、暗譜）。

※今年度より調性に変更あり。

・ W. A. Mozart	Das Veilchen	ホ長調	ト長調		
・ Beethoven	Ich liebe dich	ホ長調	ヘ長調	ト長調	
・ Schubert	Frühlingsglaube	変ト長調	変イ長調		
・ Schumann	Die Lotosblume	変ホ長調	ヘ長調		
・ Rosa (Mancia)	Star vicino	ホ長調	ト長調	イ長調	変口長調
・ Rosa	Vado ben spesso cangiando loco	変イ長調	イ長調	変口長調	ハ長調
・ Caccini	Amor ch'attendi	ホ長調	ト長調	イ長調	
・ A. Scarlatti	Se tu della mia morte	ホ短調	ヘ短調	ト短調	
・ A. Scarlatti	Sento nel core	ニ短調	ヘ短調	ト短調	
・ A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	ヘ長調	ト長調	変イ長調	変口長調
・ A. Scarlatti	Le violette	ヘ長調	変イ長調	変口長調	口長調
・ Gasparini	Lasciar d'amarti	ニ短調	ヘ短調	ト短調	
・ Gasparini	Caro laccio	変ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
・ Caldara	Sebben, crudele	ハ短調	ニ短調	ホ短調	
・ Durante	Vergin, tutto amor	口短調	ハ短調	ニ短調	
・ Paisiello	Nel cor più non mi sento	変ホ長調	ホ長調	ヘ長調	ト長調
・ Giordani	Caro mio ben	ニ長調	変ホ長調	ヘ長調	
・ Bellini	Ma rendi pur contento	変ト長調	変イ長調		
・ Bellini	Vaga luna, che inargenti	変イ長調	ハ長調		
・ Tosti	Sogno	変イ長調	変口長調		

2. 次の10曲の中から1曲を選び、演奏する（暗譜）。

・ 瀧 廉太郎	荒城の月（1番、2番のみ）	変口短調	ハ短調	ニ短調	
・ 山田 耕筰	この道（1番、2番のみ）	ニ長調	ホ長調	ヘ長調	
・ 信時 潔	北秋の	変口長調	ハ長調	ニ長調	
・ 信時 潔	行々子	ニ長調	ホ長調	嬰ヘ長調	
・ 成田 為三	浜辺の歌（1番、2番のみ）	ヘ長調	変イ長調	イ長調	
・ 小松 耕輔	母	ヘ長調	変イ長調	イ長調	
・ 平井康三郎	びいでびいで（繰り返しなし）	ト長調	イ長調		
・ 平井康三郎	ゆりかご	ニ長調	ホ長調		
・ 中田 喜直	むこうむこう	変ホ長調	ヘ長調		
・ 中田 喜直	風の子供	変ニ長調	ニ長調		

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

イ. J. S. Bach	インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲	
ロ. Kuhlau	ソナチネ	Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
ハ. Clementi	ソナチネ	Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
ニ. Dussek	ソナチネ	Op.20-No. 1 第1楽章
ホ. Haydn	ソナタ	第1楽章または終楽章
ヘ. W. A. Mozart	ソナタ	第1楽章または終楽章
ト. Beethoven	ソナタ	Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章

アートマネジメントコース

次の A. から G. をすべて受験すること。

A. 楽典 (50分)

B. 国語 (50分) 古文・漢文を除く。

*「国語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

*大学入学共通テストの成績を利用する場合は、古文、漢文を除いたものとします。

C. 外国語 (50分) 英語、ドイツ語、フランス語の中から1カ国語を選択。

*外国語のうち「英語」については、本学独自に実施する試験を受験するか、大学入学共通テストの成績を利用するか、そのいずれかを出願時に選択できます。

なお、大学入学共通テストの成績を利用する場合は、リーディングとリスニングの成績とします。

*外国語のうち「ドイツ語」および「フランス語」については、本学独自の試験を行いませんので、大学入学共通テストの成績を利用することになります。

D. 面接 (特に準備の必要はない)

E. 課題小論文 (50分)

試験場で提示する芸術文化全般に関する課題についての論述

F. 口頭試問

上記「E. 課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。

G. 実技 (器楽、声楽)

器楽または声楽のいずれかを演奏する(暗譜の必要なし)。

なお、器楽については次に掲げる楽器の中から1つを選び演奏する。

ピアノ —— 次の曲から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

- | | |
|-----------------|--|
| イ. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| ロ. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| ハ. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| ニ. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| ホ. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ヘ. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| ト. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 ————— 3分程度の任意の曲(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリimba、打楽器、ティンパニ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

声楽 ————— 演奏学科声楽コースの課題曲(16～17ページA課題曲1. 2.)の中から1曲(調性は指定の中から選ぶこと)。



入学者選抜について

入学者選抜日程

入学者選抜日程は次のとおりです。詳細については、6月に発行する入学者選抜要項で確認してください。

総合型選抜

試験期間	2021年10月23日(土)・24日(日)
試験会場	武蔵野音楽大学江古田キャンパス

学校推薦型選抜(指定校)

試験期間	2021年11月20日(土)・21日(日)
試験会場	武蔵野音楽大学江古田キャンパス

一般選抜A日程

試験期間	2022年2月18日(金)～22日(火)
試験会場	武蔵野音楽大学江古田キャンパス

一般選抜B日程

試験期間	2022年3月5日(土)～7日(月)
試験会場	武蔵野音楽大学江古田キャンパス

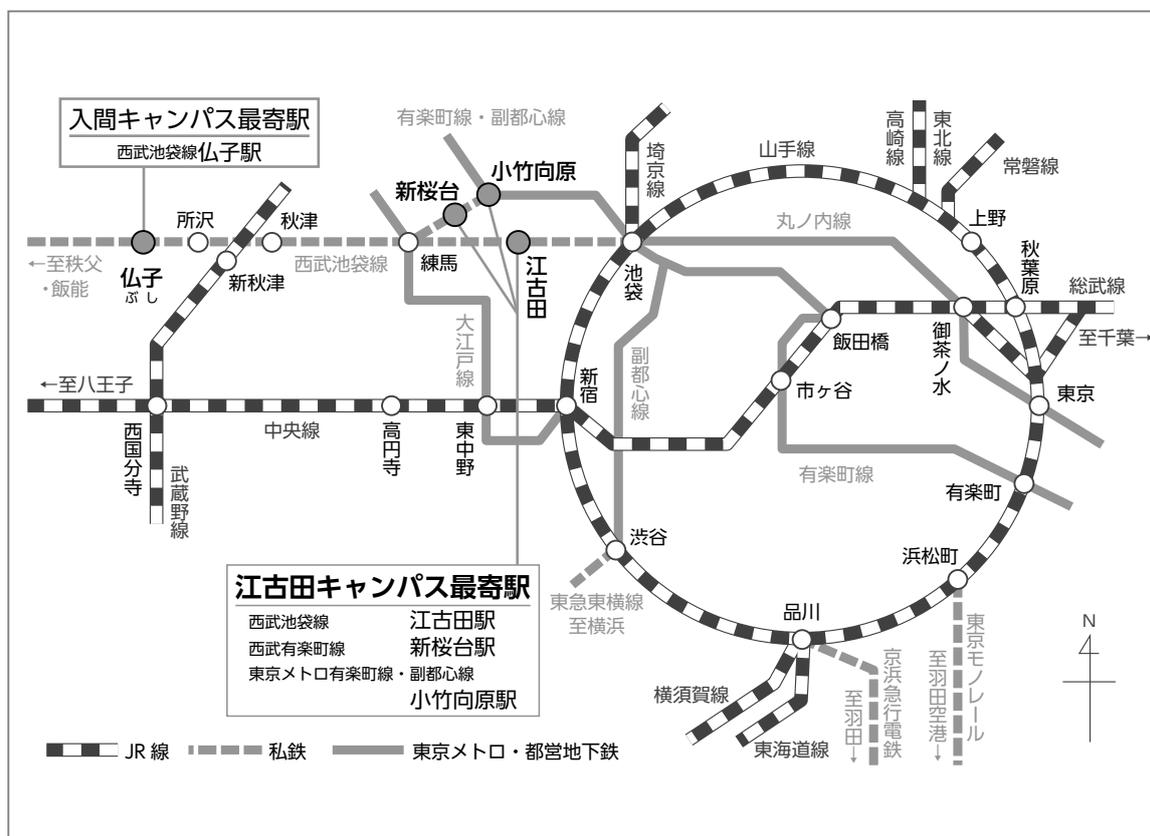
一般選抜C日程

試験期間	2022年3月16日(水)～18日(金)
試験会場	武蔵野音楽大学江古田キャンパス

2022年度音楽学部第1年次入学者選抜要項の請求について

要項送付をご希望の方は、本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、広報室へお電話にてご請求ください。

交通案内



入学者選抜に関する主な問い合わせ先

問い合わせ先	問い合わせ内容	電話番号
入学者選抜事務室	入学者選抜全般について	03-3992-1119
広報室	入学者選抜要項請求について	03-3992-1125

武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

江古田キャンパス 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1-13-1

武蔵野音楽大学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>

